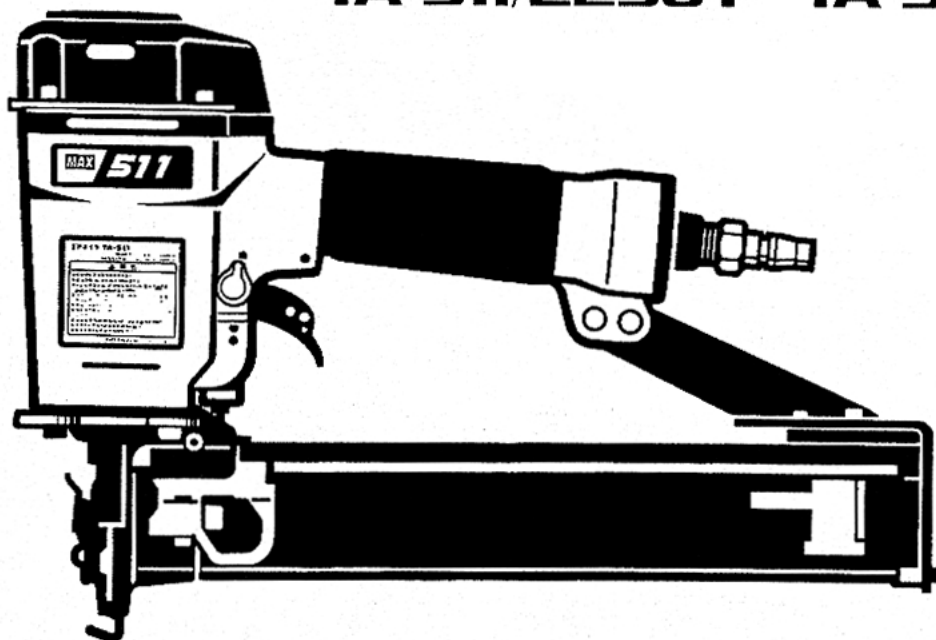


マックス釘打機エアネイラ

TA-511シリーズ

取扱説明書

TA-511/SS838T TA-511/938T TA-511/1638T
TA-511/2238T TA-511/T51V2



⚠ 警告

- 使用前に必ず取扱説明書を読む。
- 使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。
- 安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。
- 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。
- 射出口を絶対に人体に向けない。
- 移動する時、使用しない時、調整・修理・ステーブル、ネイル装填の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。
- エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。
- 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。
- 異常を感じたら絶対に使用しない。

- この取扱説明書は常時内容が確認できるよう保管してください。
- 本機の仕様は機能向上のため、予告なしに変更することがあります。

MAX®

このたびは、マックス釘打機エアネイラTA-511シリーズをお買い上げいただきましてありがとうございます。本機のご取扱いにあたって、この取扱説明書を最後までよくお読みください。使用上の注意事項、使用方法、能力などについて十分ご理解の上、安全に適切にご使用くださるようお願いいたします。

⚠ 警告：この表示は、取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。

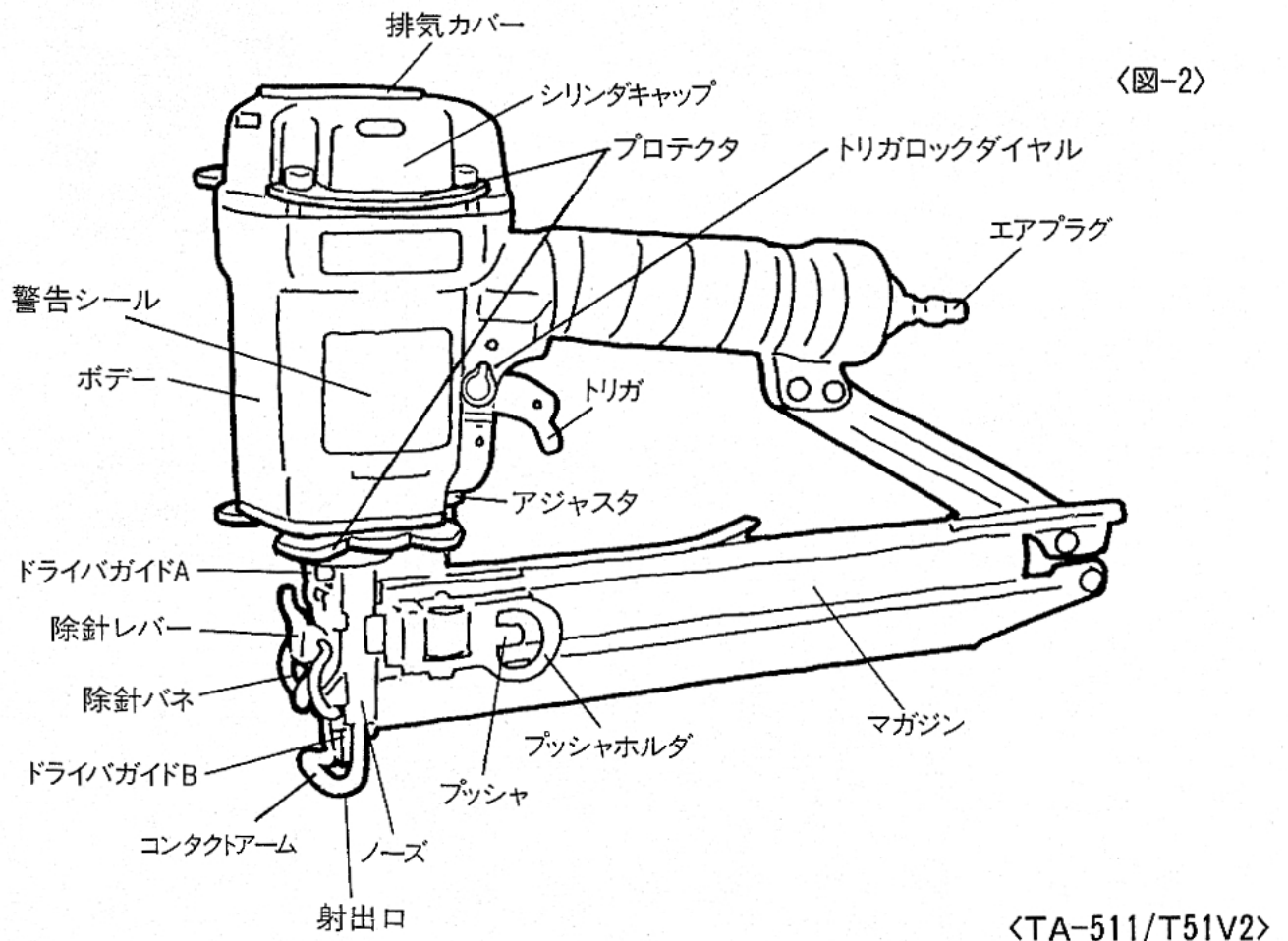
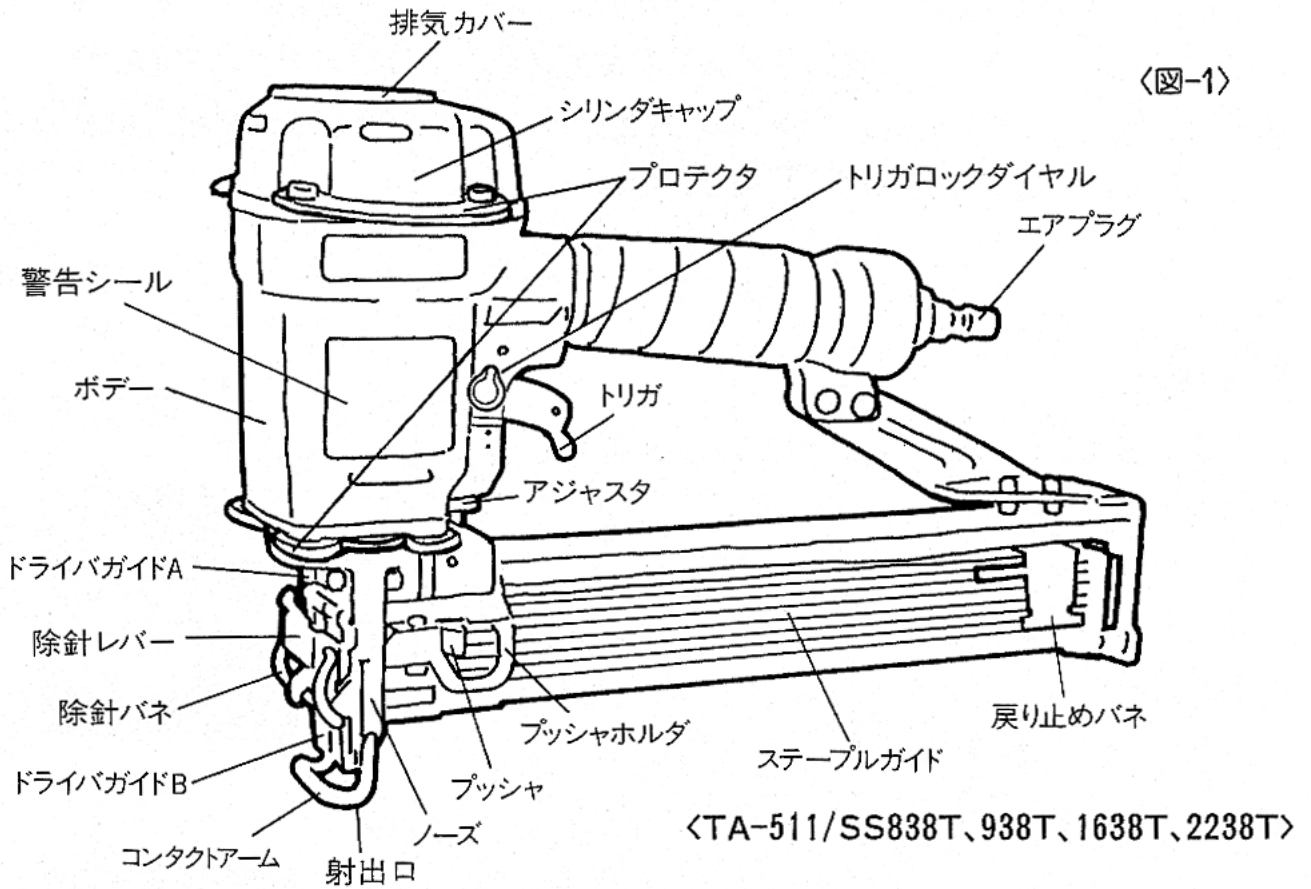
⚠ 注意：この表示は取扱いを誤った場合に、使用者が傷害を負う危険が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

また、取扱いを誤った場合には、釘打機本来の性能を発揮しないばかりでなく本機の損傷につながる事が想定される場合を表しています。

目 次

| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 各部の名称 | 1 |
| 2. 安全作業のために | 2 |
| 3. 安全装置について | 10 |
| 4. 仕様及び付属品 | 13 |
| 5. 使用方法 | 15 |
| 6. 配管についての注意 | 19 |
| 7. エアホースの接続 | 20 |
| 8. アジャスタの調整と打込状態の確認 | 21 |
| 9. ステープル、ネイルづまりの直し方 | 23 |
| 10. 性能を維持するために | 24 |
| 11. 保証、アフターサービス、補修用性能部品について | 25 |

全国販売拠点、サービス拠点一覧



本機は、木材またはそれに類した材料を木材に止めることを目的とした釘打機です。指定以外の用途、使用方法は重大な事故につながる恐れがあります。この取扱説明書の記載事項を厳守してください。作業関係者以外、特に子供は作業場所に近づけないでください。また、本機に触らせないでください。

作業前

- ①使用の際は、作業者およびまわりの人も必ず保護メガネを着用する。

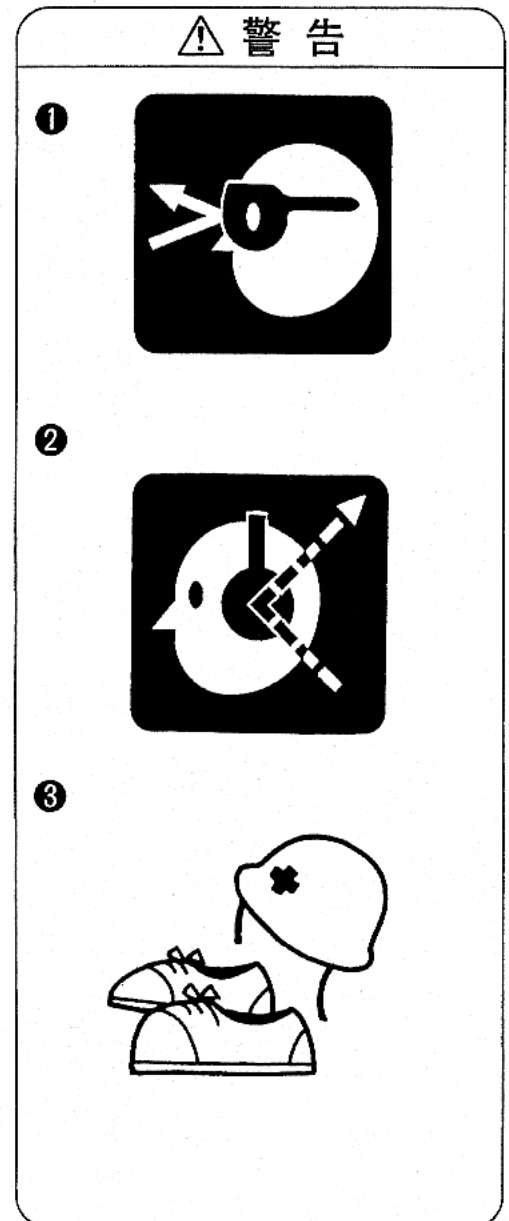
ステープル打ち、釘打作業をする時、打ち損じのステープル、ネイルがはね返り、眼に入ると失明する恐れがあります。作業する本人はもとよりまわりの人も必ず保護メガネを着用してください。

- ②防音保護具を着用する。

ステープル打ち、釘打作業をする時、排気音や排気エアから耳を守るため、作業環境に応じて防音保護具（耳栓等）を着用してください。

- ③作業環境に応じた防具を着用する。

作業環境に応じてヘルメット、安全靴等の防具を着用してください。



④エアホース接続前に必ず点検する。

エアホースを接続する前に下記の点検を必ず行ってください。

1. ネジの締め付けが緩んでいたり、抜けていないか。
2. 各部部品が外れていたり、傷んでいないか。
3. コンタクトアームがスムーズに動くか。
4. トリガをロック（引けないように固定）できるか。

（11ページ参照）

不完全なまま使うと、事故や破損の原因となります。異常のある場合は、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱へ点検・修理に出してください。

⑤エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

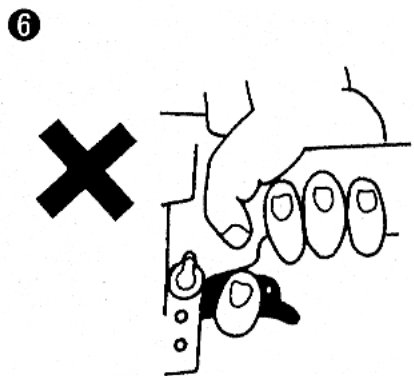
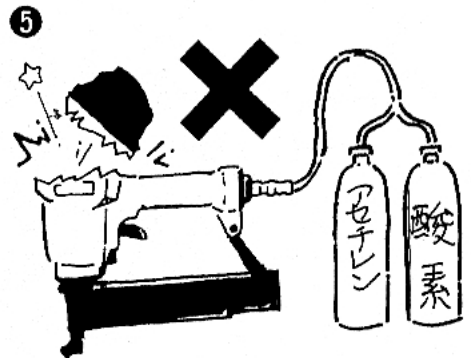
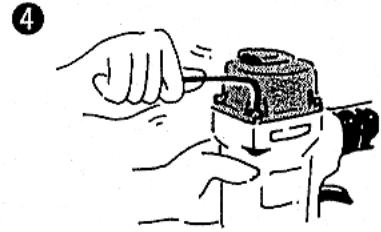
本機はエアコンプレッサによる圧縮空気を動力源とする工具です。圧縮空気以外の高圧ガス（例：酸素、アセチレン等）を使うと異常燃焼をおこし爆発の危険を伴いますので、エアコンプレッサ以外は絶対に使用しないでください。

⑥エアホース接続の時には必ず厳守する。

エアホースを接続するときは誤って作動させないよう下記のことを必ず守ってください。

1. トリガをロック（引けないように固定）する。
2. コンタクトアームに触れない。
3. コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
4. 射出口を人体に向けない。

⚠ 警告



⑦エアホース接続時には必ず確認する。

使用前にはステープル、ネイルを装填しないでエアホースを本機に接続し下記の確認を必ず行ってください。

1. エアホースを接続しただけで作動音がしないか。
2. エアもれや異常音がしないか。

エアホースを接続しただけで作動したり、エアもれや異常音がする場合は故障しています。そのまま使うと事故の原因となりますので、絶対に使用しないでください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

⑧安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ステープル、ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。(11ページ参照)

※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

1. トリガを引いただけで、作動音がする。
2. コンタクトアームを対象物に当てただけで、作動音がする。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

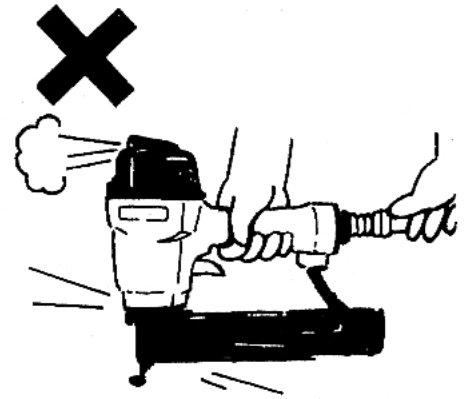
⑨指定ステープル、ネイルを必ず使用する。

指定されたステープル、ネイルと異なるものを使用すると本機の故障や事故の原因となりますので、必ず指定のステープル、ネイルをご使用ください。

(13ページ参照)

⚠ 警告

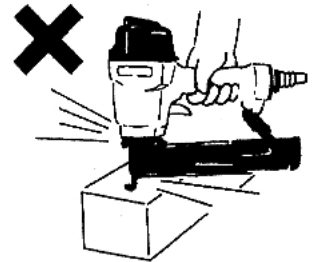
⑦



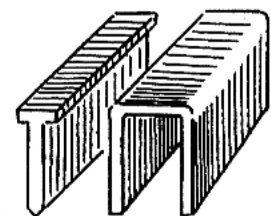
⑧-1



⑧-2



⑨



⑩ 作業場所を常に整理する。

作業場所が乱雑だとつまづくなどして思わぬ事故の原因となります。作業場所は常に整理整頓をして安定した姿勢で作業を行ってください。

作業中

① 使用空気圧を必ず守る。

本機の使用空気圧範囲は5~7kgf/cm² (0.49~0.69 MPa)です。対象物によりその範囲内で調整し使用してください。7kgf/cm² (0.69MPa)を超えた圧力で使用すると本機の寿命を早めたり損傷によって危険を生じる恐れがあります。

② 打つ時以外は絶対にトリガに指をかけない。

トリガに指をかけたまま本機を取り回し、誤って発射した場合は思いがけない事故につながります。ステーブル、ネイルを打つ時以外は絶対にトリガに指をかけないでください。

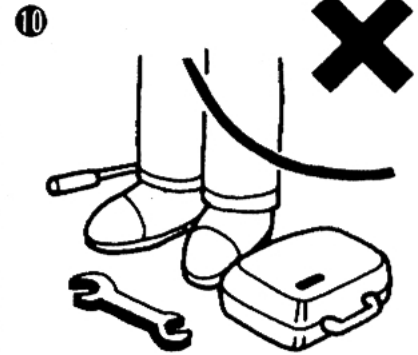
③ 射出口を絶対に人体に向けない。

射出口を人に向け、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。また、射出口付近に手足等を近づけての作業は危険ですからさけてください。同時に打ち損じたステーブル、ネイルが人に当たらないよう作業中はまわりの人に注意をはらってください。

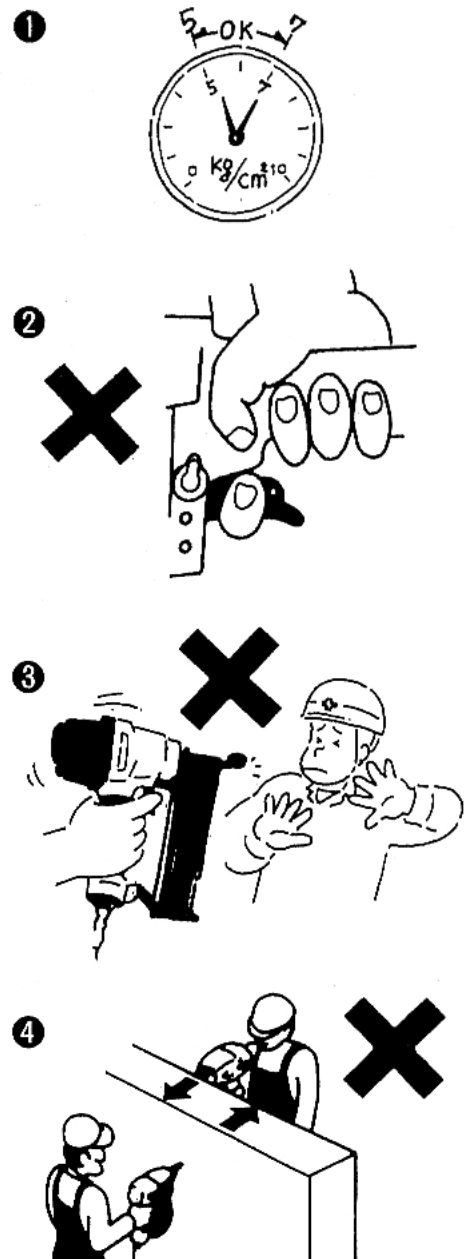
④ 向い合わせのステーブル打ち、釘打ちは絶対にしない。

向い合ってステーブル打ち、釘打作業をすると、打ち損じたステーブル、ネイルが前の作業者にあたり、思わぬ怪我をすることがありますので、向い合わせのステーブル打ち、釘打ちは絶対にしないでください。

⚠ 警告



⚠ 警告



⑤ 射出口を確実に対象物に当てる。

射出口を確実に対象物に当てないと、一度打ったステープル、ネイルや木の節などに当たった場合ステープル、ネイルがはねたり、それたりして大変危険です。また、本機が強く反発することもあり危険ですから、射出口を確実に対象物に当ててください。

⑥ 揮発性可燃物のそばで絶対に使用しない。

本機やエアコンプレッサを揮発性可燃物（例：シンナー、ガソリン等）のそばで使うとステープル、ネイル打込時の火花による引火や、空気といっしょに吸入圧縮され、爆発の危険を伴いますので、揮発性可燃物のそばでは絶対に使用しないでください。

⑦ 移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

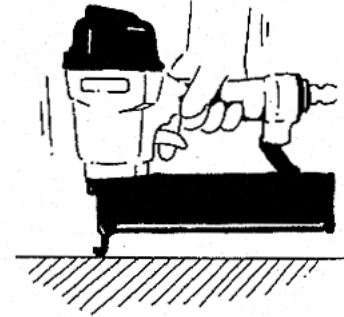
エアホースを接続した状態でトリガを引いたまま本機を持ち歩いたり、手渡し等をし、誤って発射した場合には思いがけない事故につながります。移動する際は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

⑧ 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

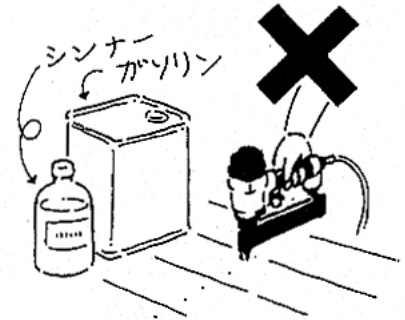
作業中のステープル、ネイル装填、調整及びステープル、ネイルづまりを直すときは誤ってステープル、ネイルを発射すると危険ですから、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。

⚠ 警告

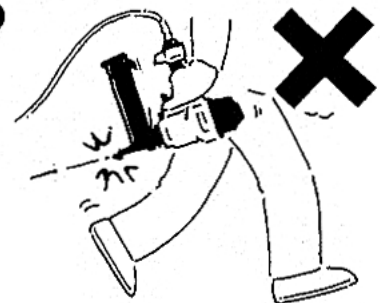
⑤



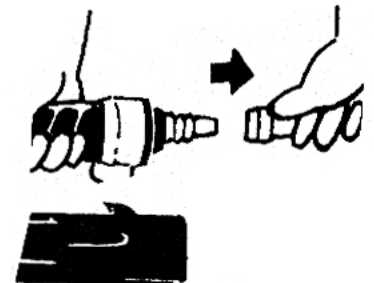
⑥



⑦



⑧

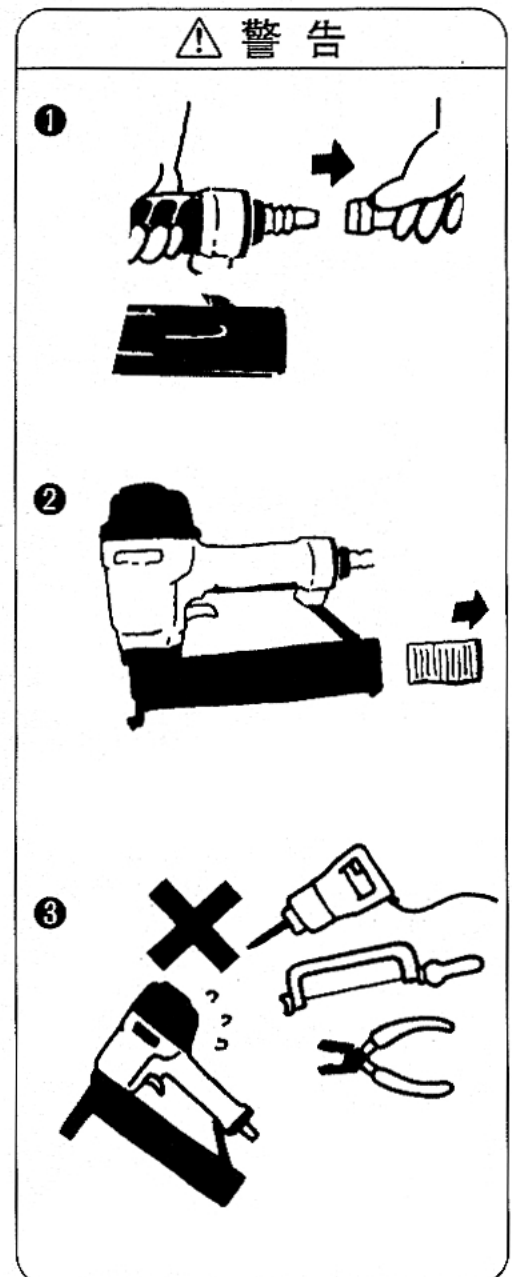


⑨異常を感じたら絶対に使用しない。

作業中に本機の調子が悪かったり、異常を感じたら、ただちに使用を中止してください。異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。


作業後
①作業終了時には必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

作業終了時には、必ずトリガをロックし、エアホースをはずしてください。


②作業終了時には必ずステープル、ネイルを抜き取る。

ステープルをステープルガイド部に、またネイルをマガジン内に残しておく、次に使用するときうっかり手を触れたり、誤って作動させた場合、思わぬ事故につながる可能性があります。作業終了時には必ずステープルガイド部のステープル、マガジン内のネイルを抜きとってください。

③本機を絶対に改造しない。

本機を改造すると、本来の性能が発揮できないばかりでなく安全性が損なわれますので、絶対に行わないでください。

屋外作業について

①足場の安全性を十分に確認する。

足場を使っての高所作業の場合、ステープル打ち、釘打作業中に落ちることのないように充分足場の安全性を確認してください。

②エアホースの確保。

高所作業の場合、エアホースは作業場所の近くに必ず固定箇所を作ってください。これは不用意にホースが引っぱられたり、引つかかったりしたときの危険を防ぐためです。また、ホースのたるみやねじれのないように注意してください。

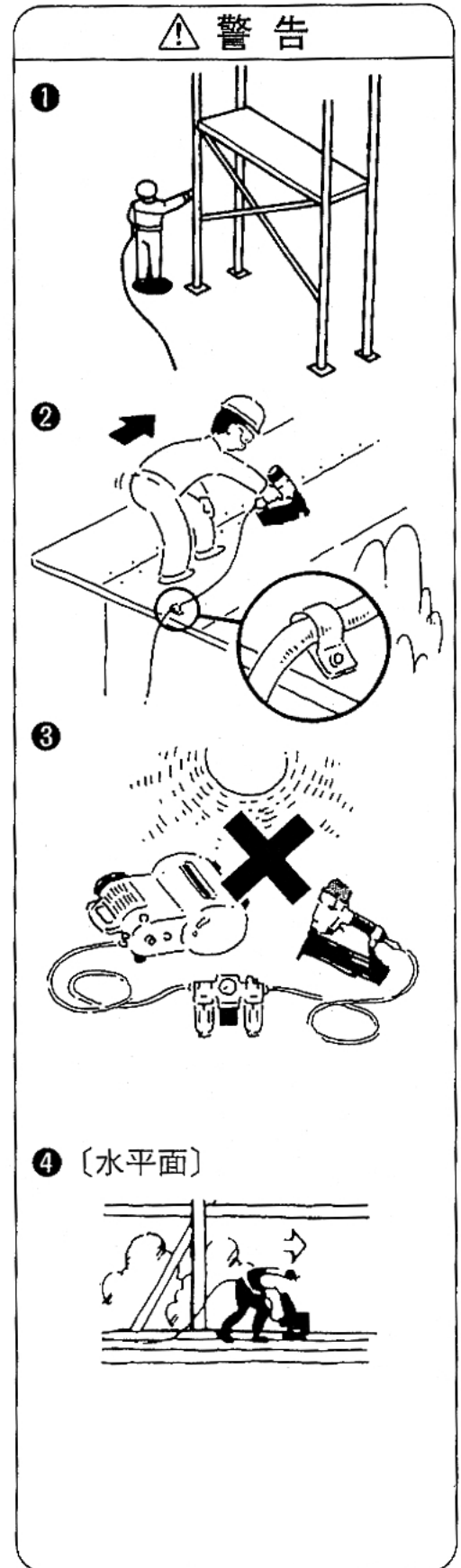
③直射日光をさける。

本機やエアセット、エアコンプレッサは直射日光に長時間あてたまま放置しないでください。また、エアコンプレッサはできるだけ日陰に設置して使用してください。

打ち方

④水平面のステープル打ち、釘打ち

前進姿勢でステープル打ち、釘打作業を行ってください。安全で疲労が少なく、正確で速い作業ができます。後退しながらの作業は足をとられるなど危険です。



⑤ 垂直面のステープル打ち、釘打ち

本機を手の届く最も高いところまで差し上げ、上から順に下へステープル打ち、釘打作業を行ってください。疲労の少ない作業ができます。

※内、外壁の同時打ちは絶対にしないでください。

⑥ 傾斜面のステープル打ち、釘打ち

下から上に向かって前進姿勢でステープル打ち、釘打作業を行ってください。上から下に後退すると足を踏みはずす危険があります。

⚠ 警告

⑤〔垂直面〕**⑥**〔傾斜面〕

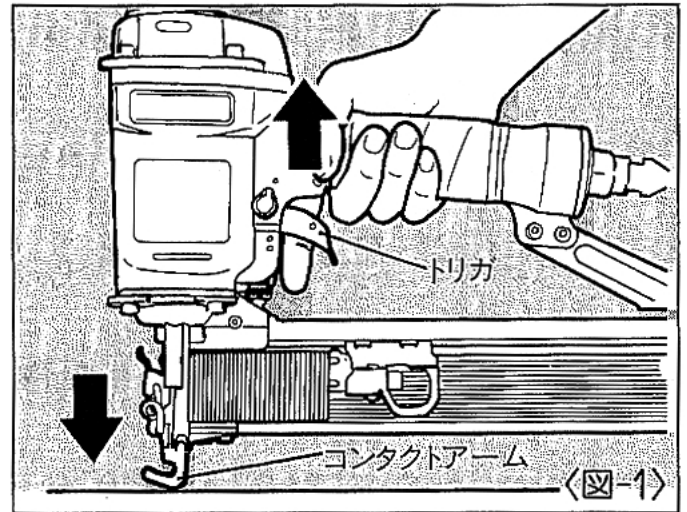
3

安全装置について

釘打作業の安全を確保するため、本機には次のような安全装置がついています。

●メカニカル安全装置

これはコンタクトアームとトリガが同時に作動しないと発射しないメカニズムです。つまりトリガを引いただけではステープル、ネイルは発射せず、また、コンタクトアームを打込対象物に当てただけでもステープル、ネイルは発射しません。コンタクトアームを対象物に当てる動作とトリガを引くという動作が重なって始めてステープル、ネイルは発射されます。



〈図-1〉

⚠ 警告

●安全装置が完全に作動するか使用前に必ず点検する。正常に作動しない場合は使用しない。

使用前には必ず安全装置が完全に作動するか、確認してください。ステープル、ネイルを装填しないでエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットして確認してください。

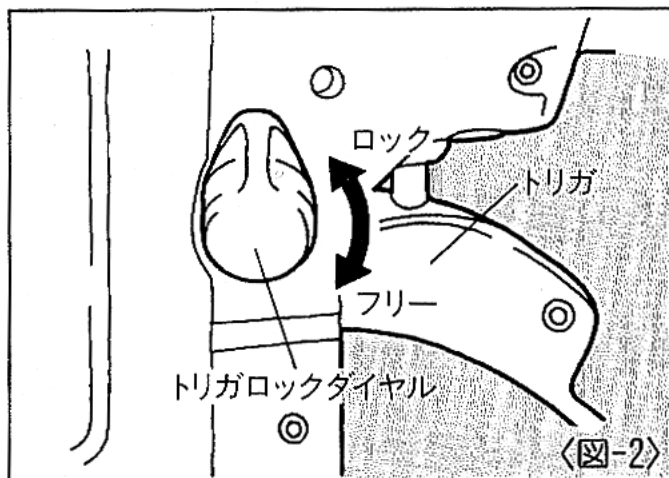
※下記の場合には安全装置が故障していますから本機を絶対に使用しないでください。

- 1.トリガを引いただけで、作動音がする。
- 2.コンタクトアームを打込対象物に当てただけで、作動音がする。

異常のある場合はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

●トリガロック装置

本機にはより安全に作業していただくためにトリガロック装置を標準装備しています。トリガロック装置とは、作業しないときに本機の使用者の意志によってトリガをロック（引けないように固定）することにより作動できないようにすることができ装置です。 〈図-2〉



ステープルやネイルを打っているとき以外はトリガロックダイヤルを押し回し、ロックの位置にセットしエアホースをはずしてください。作業を始める場合はトリガロックダイヤルを押し回しフリーの位置にセットしてください。

●DSバルブ（別売部品）について

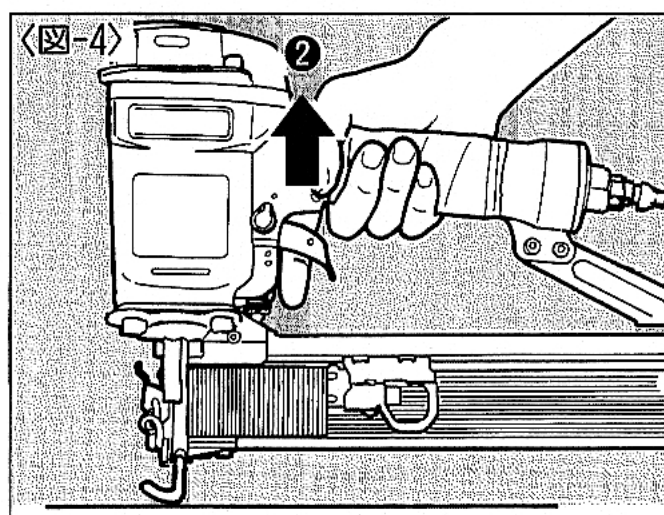
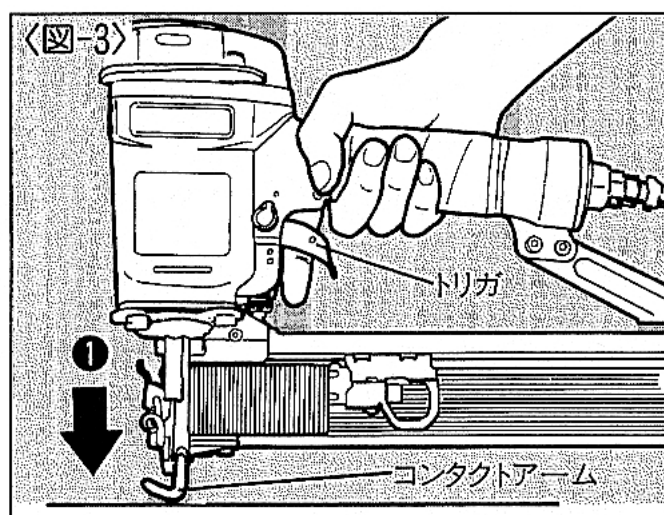
本機にはDSバルブが別売部品として用意されています。DSバルブは、コンタクトアームを対象物に押しあてた後、トリガを引く構造になっておりますので狙った場所に一発一発より一層確実に打つことができます。また、その結果として偶然の思わぬ事故から身を守り安全に作業することにつながります。

打ち方

- ①ステープル、ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当てます。 <図-3>
- ②トリガを引くとステープル、ネイルが発射されます。 <図-4>
- ③コンタクトアームの先端を対象物よりはなし、トリガから指をはなします。
- ④①～③の動作を繰り返して釘打作業を行います。

※トリガを先に引いて、コンタクトアームの先端を対象物に押し当ててもステープル、ネイルは発射されません。

- DSバルブの取付けは、お買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に御相談ください。



⚠ 警告

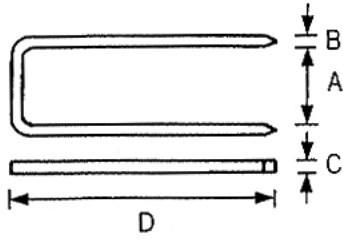
- 作業前、DSバルブが上記通りの作動をするか必ず確認する。
- DSバルブの各部品が摩耗または消耗していないか必ず点検する。異常がある場合は本機を使用しない。
異常がある場合はお買い求めの販売店またはマックスサービス㈱に点検・修理に出してください。

4 仕様及び付属品

| | | | | | |
|-------------------|--|-------------|--------------|--------------|---------------------------|
| 商 品 名 | マックス釘打機エアネイラ | | | | |
| 商 品 記 号 | TA-511/SS838T | TA-511/938T | TA-511/1638T | TA-511/2238T | TA-511/T51V2 |
| バルブ機構 | ヘッドバルブ方式 | | | | |
| ステープル、ネイル 送り機構 | プッシュバネ送り | | | | |
| マガジン形式 | 後ろ入れ方式 | | | | 上入れ方式 |
| 寸 法 | (H)257×(W)84×(L)374mm | | | | (H)257×(W)84× (L)390mm |
| 重 量 | 1.9kg | 1.9kg | 2.1kg | 2.2kg | 1.9kg |
| 装 填 数 | 150本 | | | | 111本 |
| 使用空気圧範囲 | 5~7kgf/cm ² (0.49~0.69HPa) | | | | |
| 使用ホース | 内径7mm以上、30m以内 | | | | |
| 使用オイル | タービン油1種ISO VG32(JIS1号90番) | | | | |
| 安全装置 | メカニカル方式、トリガロック装置 | | | | |
| 付 属 品 | <p>保護メガネ、ジェットオイル(油入)、六角棒スパナ3、4mm各1本、 隅打ち用コンタクト(TA-511/T51V2のみ)、アイボルト8×15、 ブロック(TA-511/1638T、TA-511/2238Tのみ)、 ブロック取付用穴六角穴4×10(TA-511/1638T、TA-511/2238Tのみ) ※ブロックはTA-511/1638Tについては足長さ10~22mm、TA-511/ 2238Tについては足長さ13~22mmご使用の時装着してください。 (24ページ参照)</p> | | | | |
| 使用消耗品 | SS819T | 920T-SC | 1610T | 2213T-D | T32V2 |
| | SS822T | 923T-SC | 1613T | 2217T | T38V2 |
| | SS825T | 925T | 1616T | 2217T-D | T45V2 |
| | SS832T | 928T | 1619T | 2219T | T51V2 |
| | SS838T | 928T-D | 1619T-D | 2219T-D | |
| | | 932T | 1622T | 2222T | |
| | | 938T | 1622T-D | 2225T | |
| | | | 1625T | 2228T | |
| | | | 1625T-D | 2230T | |
| | | | 1632T | 2232T | |
| | | | 1638T | 2238T | |

- ステープル記号の末尾のSCはスペシャルチゼルポイントです。
Dはダイバージェントポイントです。
- 付記されていないものはチゼルポイントです。

<ステープルサイズ>



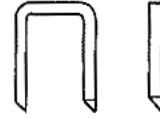
先端形状

●チゼルポイント

●スペシャルチゼルポイント



●ダイバージェントポイント



(単位：mm)

(単位：mm)

| ステープル | A | B | C | D | 先端形状 |
|--------|------|------|------|----|------|
| SS819T | 7.35 | 1.37 | 1.58 | 16 | チゼル |
| SS822T | // | // | // | 22 | // |
| SS825T | // | // | // | 25 | // |
| SS832T | // | // | // | 32 | // |
| SS838T | // | // | // | 38 | // |

| ステープル | A | B | C | D | 先端形状 |
|---------|----|-----|-----|----|----------|
| 920T-SC | 9 | 1.4 | 1.6 | 20 | スペシャルチゼル |
| 923T-SC | // | // | // | 23 | // |
| 925T | // | // | // | 25 | チゼル |
| 928T | // | // | // | 28 | // |
| 928T-D | // | // | // | 28 | ダイバージェント |
| 932T | // | // | // | 32 | チゼル |
| 938T | // | // | // | 38 | // |

(単位：mm)

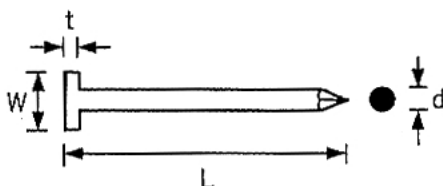
(単位：mm)

| ステープル | A | B | C | D | 先端形状 |
|---------|----|-----|-----|----|----------|
| I610T | 16 | 1.4 | 1.6 | 10 | チゼル |
| I613T | // | // | // | 13 | // |
| I616T | // | // | // | 16 | // |
| I619T | // | // | // | 19 | // |
| I619T-D | // | // | // | 19 | ダイバージェント |
| I622T | // | // | // | 22 | チゼル |
| I622T-D | // | // | // | 22 | ダイバージェント |
| I625T | // | // | // | 25 | チゼル |
| I625T-D | // | // | // | 25 | ダイバージェント |
| I632T | // | // | // | 32 | チゼル |
| I638T | // | // | // | 38 | // |

| ステープル | A | B | C | D | 先端形状 |
|---------|-----|-----|-----|----|----------|
| 2213T-D | 2.2 | 1.4 | 1.6 | 13 | ダイバージェント |
| 2217T | // | // | // | 17 | チゼル |
| 2217T-D | // | // | // | 17 | ダイバージェント |
| 2219T | // | // | // | 19 | チゼル |
| 2219T-D | // | // | // | 19 | ダイバージェント |
| 2222T | // | // | // | 22 | チゼル |
| 2225T | // | // | // | 25 | // |
| 2228T | // | // | // | 28 | // |
| 2230T | // | // | // | 30 | // |
| 2232T | // | // | // | 32 | // |
| 2238T | // | // | // | 38 | // |

<Tネイルサイズ>

(単位：mm)



| ステープル | L | W | d | t | 先端形状 |
|-------|----|-----|-----|-----|--------|
| T32V2 | 32 | 8.1 | 2.2 | 1.8 | ダイヤモンド |
| T38V2 | 38 | // | // | // | // |
| T45V2 | 45 | // | // | // | // |
| T51V2 | 51 | // | // | // | // |

5 使用方法

使用前に本機とエアコンプレッサを接続しないで使い方を覚えてください。

【ステープル、ネイルの装填方法】

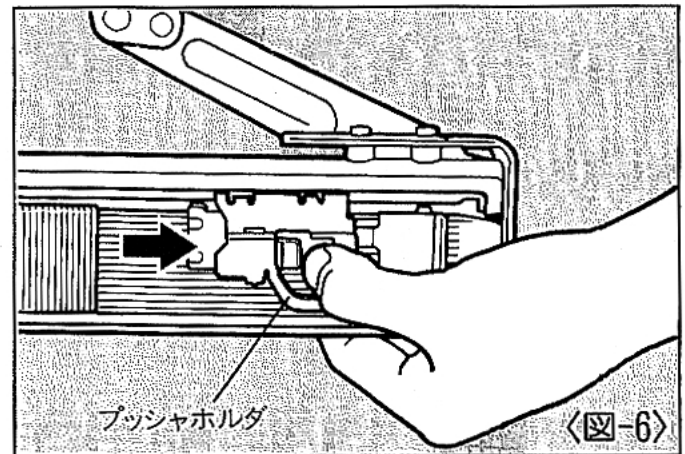
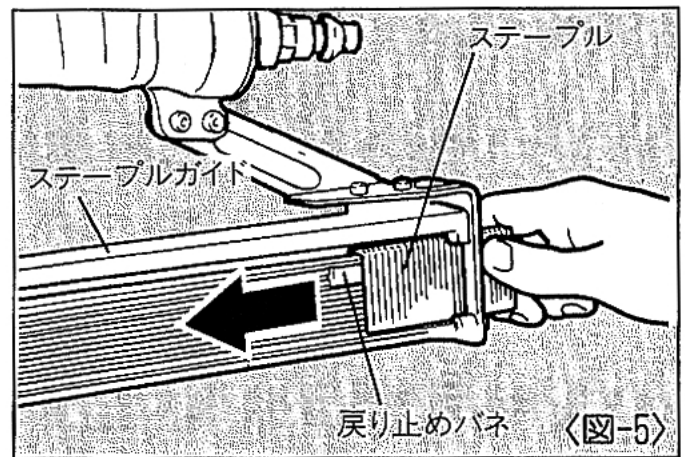
⚠ 警告

- ステープル、ネイルを装填するときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

〈TA-511/SS838T・938T・1638T・2238Tの場合〉

手順

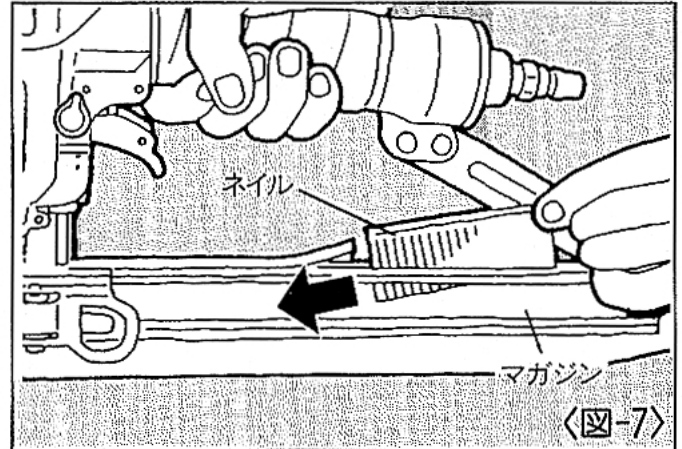
- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ステープルをステープルガイド後方から、戻り止めバネを超えるところまで入れます。 〈図-5〉
ステープルは最大3連(150本)まで入ります。
- ③プッシャホルダをステープルガイド後端まで引っ張り、静かに戻します。 〈図-6〉



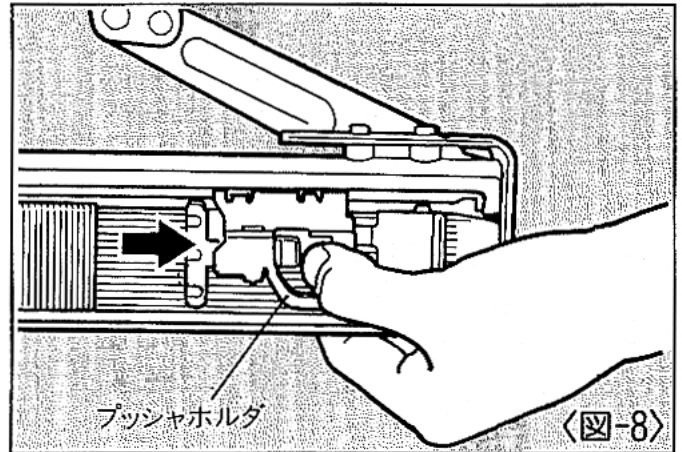
〈TA-511/T51V2の場合〉

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ネイルをマガジン上方から入れます。
〈図-7〉
ネイルは最大3連(111本)まで入ります。

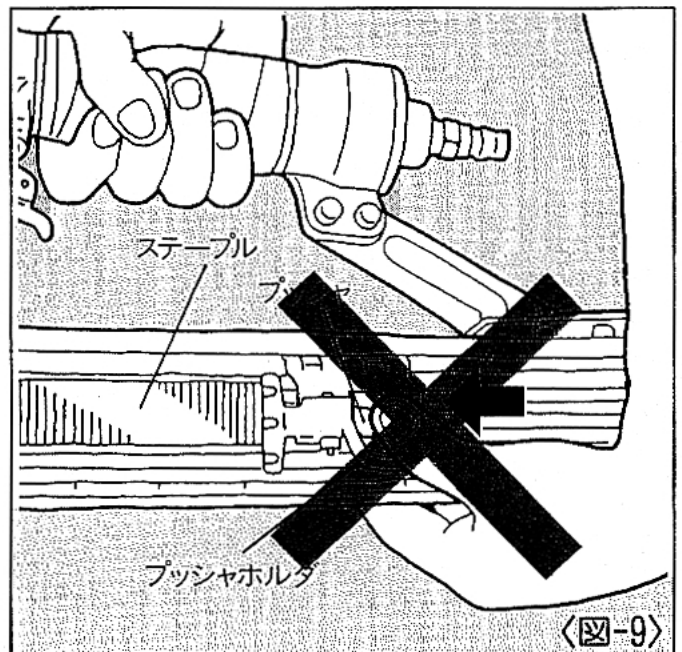


- ③プッシャホルダをマガジン後端まで引っ張り、静かに戻します。
〈図-8〉



⚠ 注意

- プッシャホルダを戻す際、プッシャを押したまま行いますとステープル、ネイルがセットされません。装填はプッシャを押さずに行ってください。
〈図-9〉
- プッシャホルダは急に放しますと、プッシャが急激に戻り、ステープル、ネイルが変形したり、ばらばらになったりして、ステープル、ネイルづまりの原因になります。プッシャホルダは、必ず静かに戻してください。



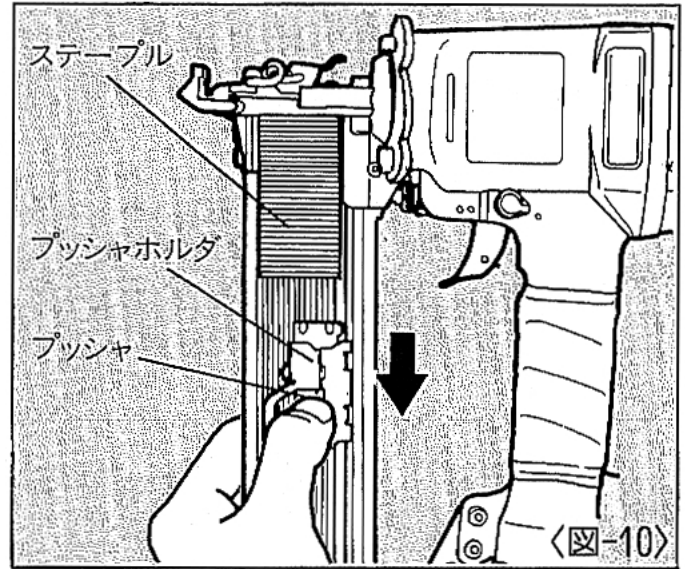
【ステープル、ネイルの抜き取り方法】

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ステープルガイド後端、マガジン後端を下にして、プッシャホルダを少し引きながら、左右のプッシャを押し、ステープル、ネイルを解放してください。

〈図-10〉

- ③ステープルはステープルガイド後端より、ネイルはマガジン上部より抜き取ってください。



⚠ 警告

- 作業終了時には必ずステープル、ネイルを抜き取る。

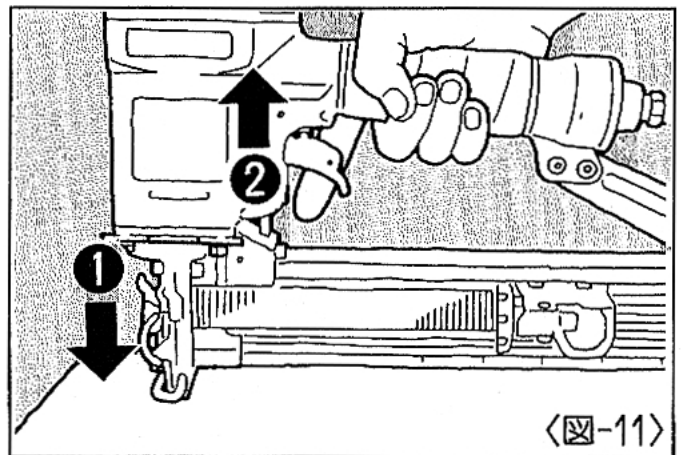
【打ち方】

手順

●トリガ打ち

打込位置を正確に狙うには、ステープル、ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を押し当ててからトリガを引きます。

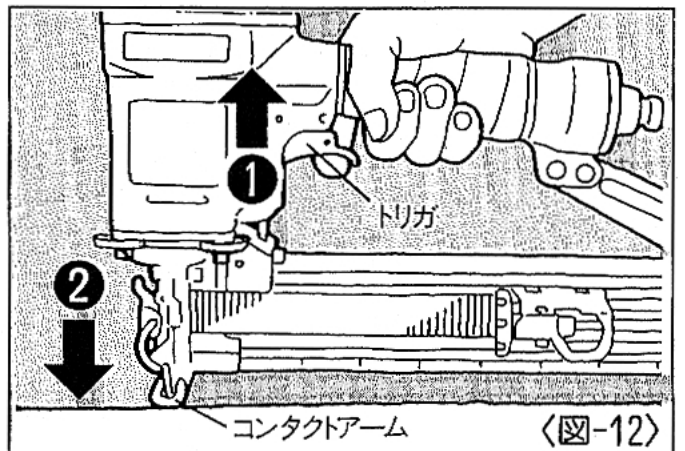
〈図-11〉



●コンタクト打ち

早く打ちたい時は、トリガを引いたままステープル、ネイルを打とうとする場所にコンタクトアームの先端を打ち当てるだけで連続作業ができます。

〈図-12〉

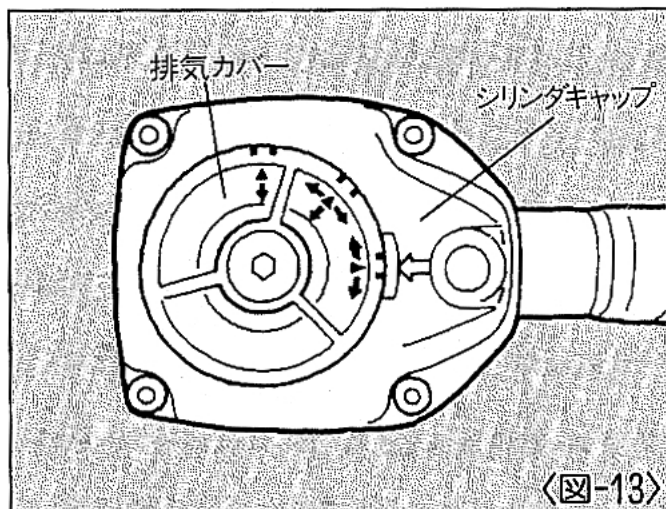


【排気方向の変え方】

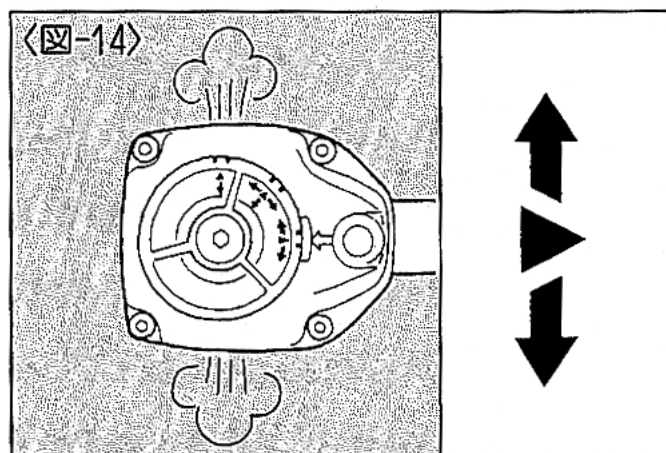
シリンダキャップ上部の排気カバーを手で回すことにより、本機は3つのタイプに排気方向を変えることができます。

上から見ますとシリンダキャップに矢印と排気カバーに3つの印がついています。

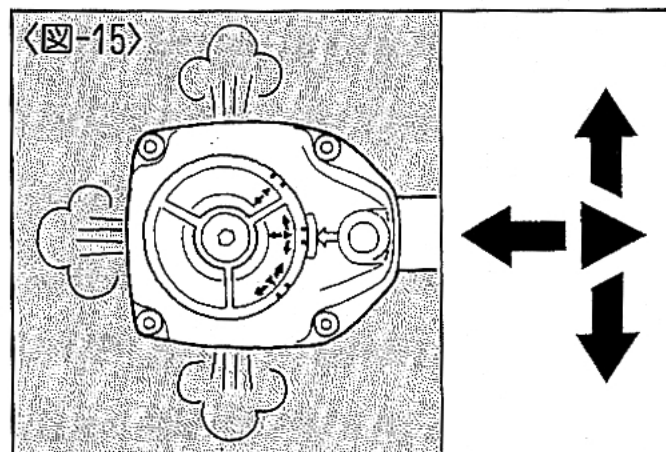
〈図-13〉



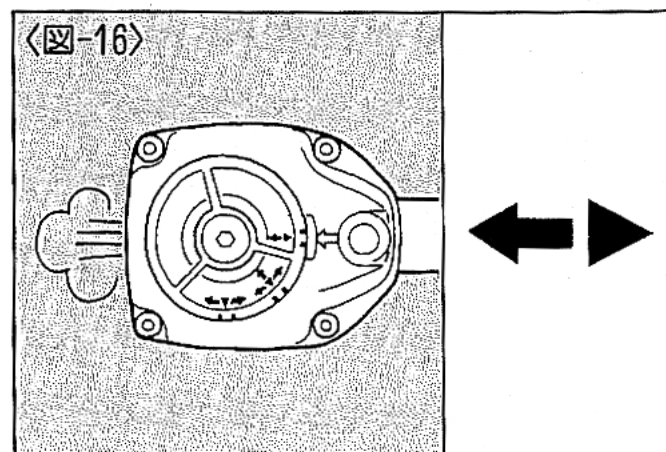
㊤左右2方向から排気させたい場合 〈図-14〉 に合せます。



㊦左右前3方向から排気させたい場合 〈図-15〉 の位置に合せます。



㊧前1方向のみから排気させたい場合 〈図-16〉 の位置に合せます。



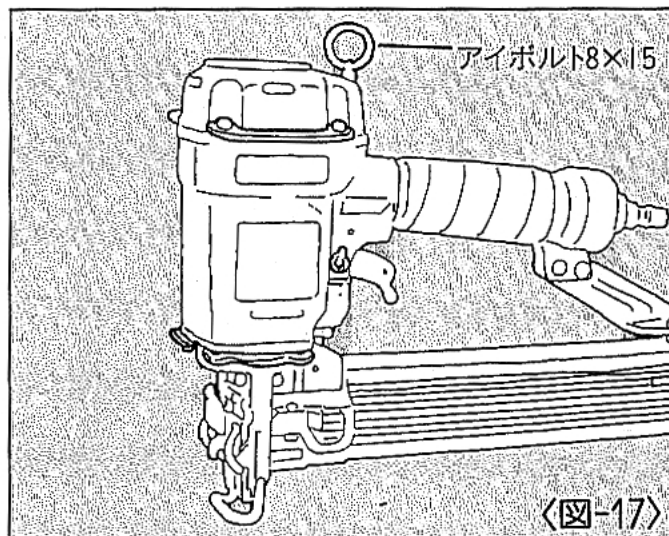
作業環境に合わせて㊤～㊧を選んでご使用ください。

⚠ 警告

- 調整のときは、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

●アイボルト8×15（付属品）

本機はバランス等で吊るせるように、アイボルト8×15が取付けられるようになっています。 〈図-17〉



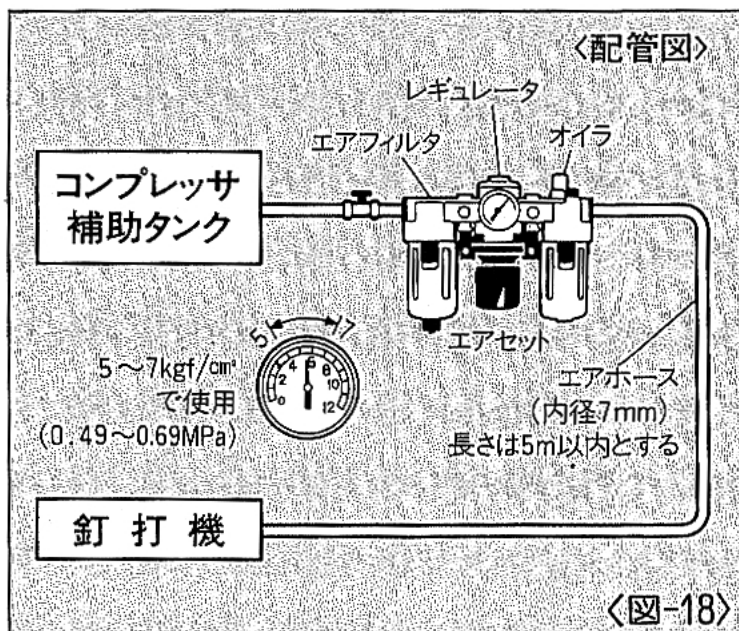
※上記付属品の取付けについては、担当の営業マン、又はお買い求めの販売店までお申し付けください。

6 配管についての注意

⚠ 警告

●エアコンプレッサ以外の動力源は絶対に使用しない。

- ①動力源は必ずエアコンプレッサをお使いください。高圧ガス(例：酸素、アセチレン等)は絶対に使わないでください。
- ②エアセットはできるだけ本機1台に1セット取付けるようにしてください。
- ③エアホースは内径7mm以上、長さ30m以内で使用してください。エアセット使用時は、エアセットから釘打機までのエアホースを内径7mm以上、長さ5m以内で使用してください。 〈図-18〉



⚠ 警告

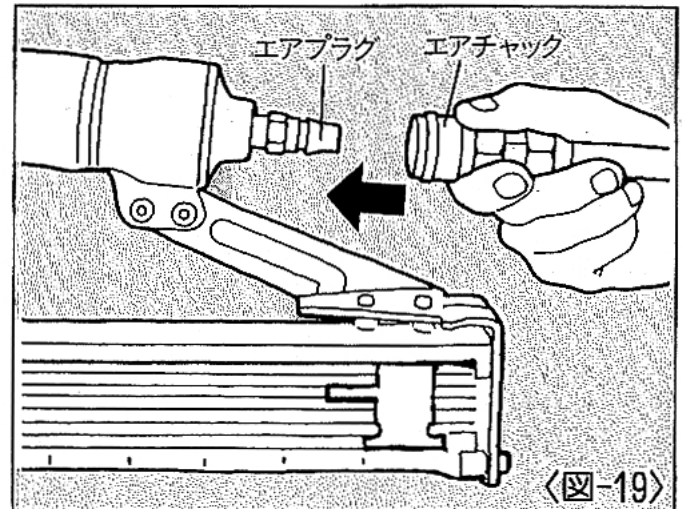
●エアホース接続の時は必ず厳守する。

エアホースを接続する時は誤って作動させないように下記のことを必ず守ってください。

- 1.トリガをロックする。
- 2.コンタクトアームに触れない。
- 3.コンタクトアームを押し上げた状態にしない。
- 4.射出口を人体に向けない。

手順

- ①トリガをロックします。
- ②エアプラグにエアホースのエアチャックを接続します。 〈図-19〉



⚠ 警告

- 作業中断時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

8

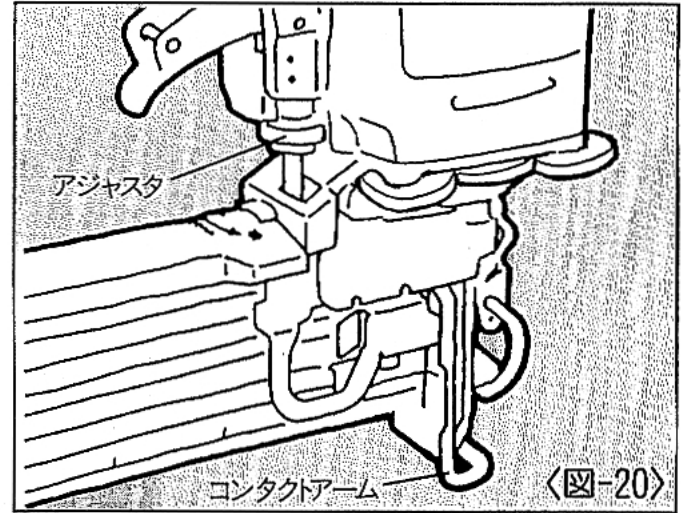
アジャスタの調整と打込状態の確認

本機には打込深さを調整できるアジャスタが装備されています。打込みすぎは極端に保持力が低下しますので作業の際には打込状態を確認して、アジャスタで深さを調整してください。

〈図-20〉

⚠ 警告

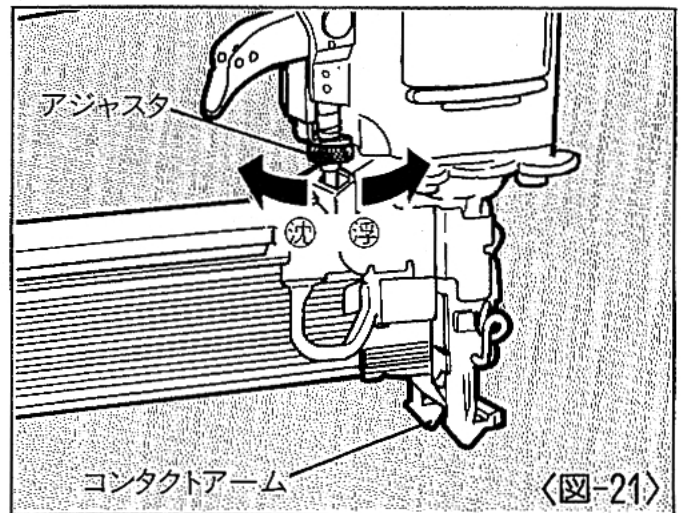
- 調整の時は必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。



〈図-20〉

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ステープル、ネイルを装填します。
- ③エアコンプレッサの圧力を6kgf/cm² (0.59MPa) にセットします。
- ④本機にエアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットします。
- ⑤アジャスタの調整（ステープル、ネイルの打込調整）の前に一度テスト打ちしてください。打込みたい深さを確認します。
- ⑥トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ⑦ステープル、ネイルを取り出します。
- ⑧アジャスタを回し調整します。〈図-21〉
※アジャスタを1回転させると約1mm上下します。
- ⑨本機にステープル、ネイルを装填します。

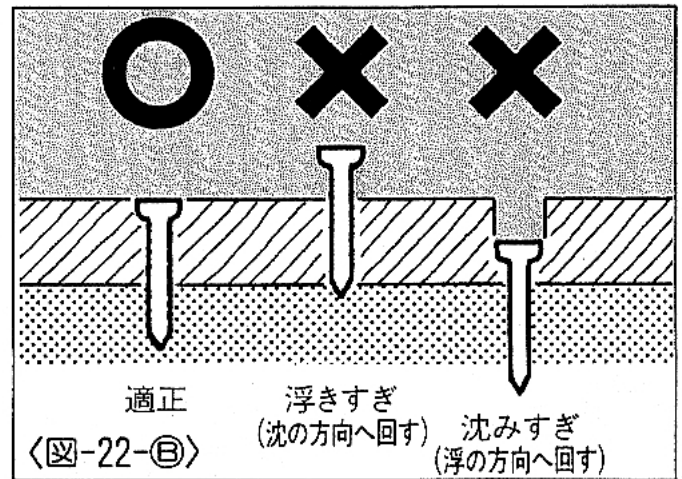
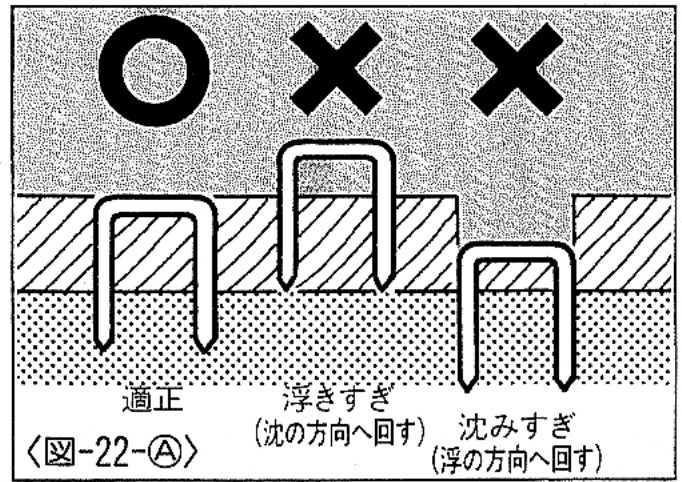


〈図-21〉

⑩エアホースを接続し、トリガロックダイヤルをフリーにセットしてさらにテスト打ちをして適正かどうか確認してください。
〈図-22〉

⑪適正であれば調整完了です。不適正であれば以上の手順をくり返してください。

⑫適正状態が得られない場合はエアコンプレッサの空気圧を調整してください。



⚠ 警告

●7kgf/cm² (0.69MPa) を超えた圧力では絶対に使用しない。

9 ステープル、ネイルづまりの直し方

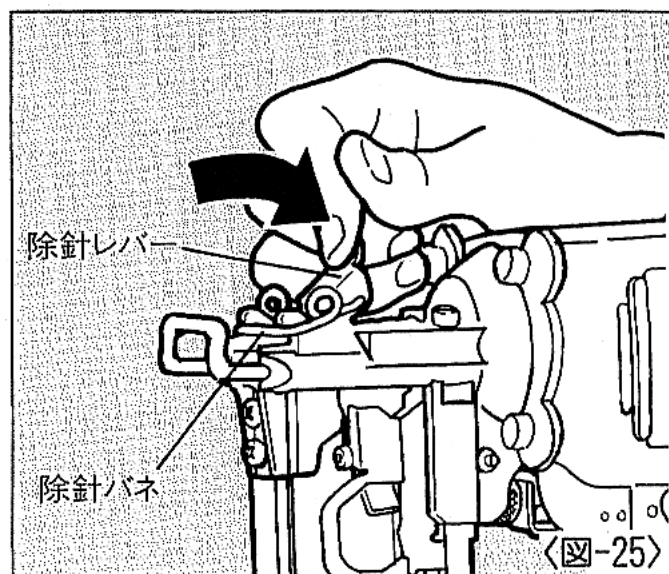
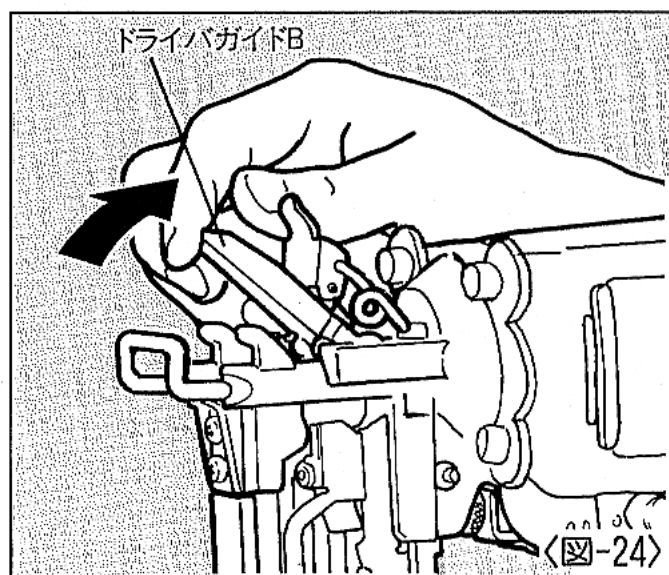
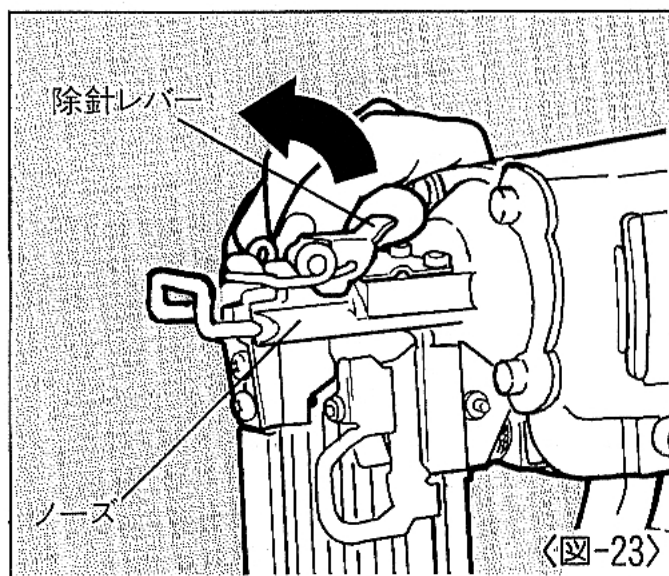
ステープル、ネイルづまり時に除去を簡単に行えるよう、本機には除針装置がついています。

⚠ 警告

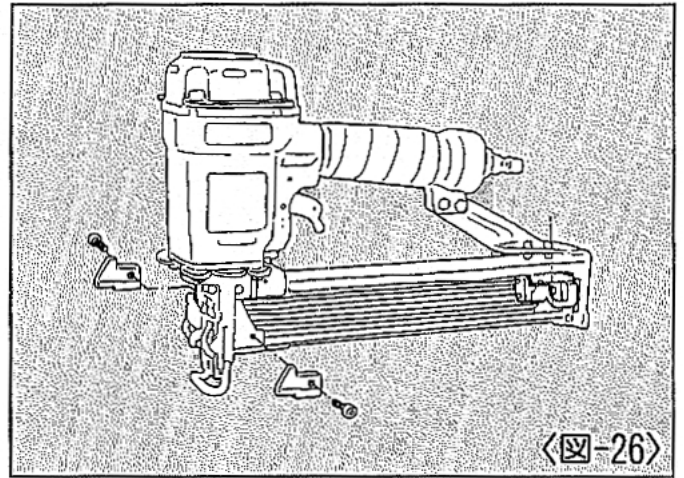
- ステープル、ネイルづまりを直す時は、必ずトリガをロックし、エアホースをはずす。

手順

- ①トリガをロックし、エアホースをはずします。
- ②ステープルガイド部、マガジン内に残っているステープル、ネイルを抜き取ります。
- ③ノーズ前面にある除針レバーを手で引き上げます。 <図-23>
- ④ドライバガイドBを開き、つまったステープル、ネイルを取り除きます。 <図-24>
- ⑤除針バネをノーズの2つのつのに引っ掛け、除針レバーを押し戻します。 <図-25>



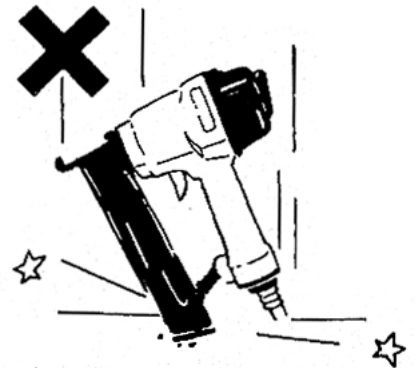
- ⑥ TA-511/1638TおよびTA-511/2238T
で足長さ22mm以下のステープルを使用する時は、図のように付属のブロックを装着してご使用ください。 〈図-26〉



10 性能を維持するために

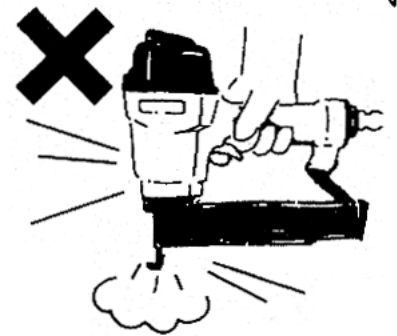
① 本機を大切に使う

落したり、ぶつかけたり、叩いたりしますと、変形、亀裂や破損を生じる場合があります。危険ですから絶対に落したり、ぶつかけたり、叩いたりしないでください。



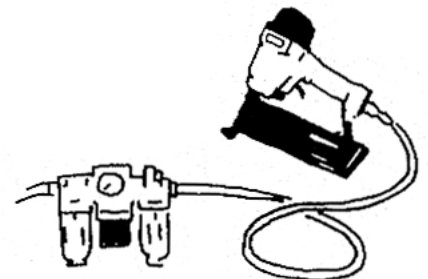
② カラ打ちをしない

ステープル、ネイルを装填しないでカラ打ちをくり返し行くと各部の耐久性が低下しますのでさけてください。



③ エアセットを使用する

エアセットを使わないとエアコンプレッサ内の水分やゴミが本機内に入り、錆や摩耗が発生して作動不良の原因になります。なお、エアセットから本機までのエアホースは長すぎると圧力低下となりますので5m以内にしてください。



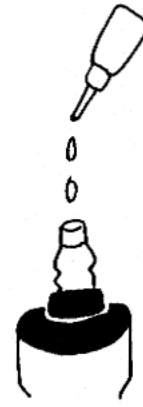
④ 本機の水抜きをする

作業終了時エアプラグを下に向け十分水抜きしてください。



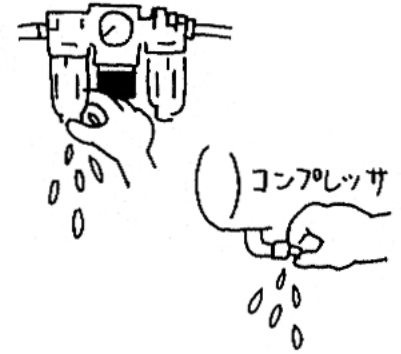
⑤指定オイルを注油する

オイルはタービン油1種ISO VG32（JIS1号90番）を必ずお使いください。使用前使用後にエアプラグの口より2～3滴注油してください。指定外のオイルを使用しますと、能力低下や故障の原因となります。



⑥エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタの水抜きをする

エアコンプレッサのタンク、補助タンク、エアセットのエアフィルタに水がたまると能力低下や故障の原因となりますので定期的に水抜きをしてください。



⑦定期的に点検する

本機の性能を維持するために清掃、点検を定期的に行ってください。点検はお買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にお申しつけください。

11

保証、アフターサービス、補修用性能部品について

【保証について】

- 本機には保証書（梱包箱に添付）がついています。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 本機の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

【アフターサービスについて】

- 本機の調子が悪いときは、使用を中止して、お買い求めの販売店又はマックスサービス㈱にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は、修理によって機能が維持できる場合に、ご要望により有償修理させていただきます。

【補修用性能部品の最低保有期間】

- 本機の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打ち切り後6年です。
- 補修用性能部品とは、本機の性能を維持するために必要な部品です。

この取扱説明書は再生紙を使用しています。



| | | | |
|----------------|-----------|-------------------------|---------------------|
| 本社・営業本部 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6-6 | TEL(03)3669-8121(代) |
| 東京支店 | 〒103-8502 | 中央区日本橋箱崎町6-6 | TEL(03)3669-8118(代) |
| 札幌店 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)261-7141(代) |
| 仙台店 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)236-4121(代) |
| 名古屋支店 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8531(代) |
| 大阪支店 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1-3-18 | TEL(06)444-2031(代) |
| 広島支店 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-6331(代) |
| 福岡支店 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1-5-1 | TEL(092)411-5416(代) |
| 盛岡営業所 | 〒020-0824 | 盛岡市東安庭2-10-3 | TEL(019)621-3541(代) |
| 宇都宮営業所 | 〒321-0933 | 宇都宮市築瀬町2313 | TEL(028)636-3012(代) |
| 柏営業所 | 〒277-0871 | 柏市若柴297-12 | TEL(0471)32-1500(代) |
| 多摩営業所 | 〒190-0022 | 立川市錦町5-17-19 | TEL(042)528-3051(代) |
| 川崎営業所 | 〒213-0032 | 川崎市高津区久地597-1セブンエースト久地F | TEL(044)844-4700(代) |
| 浜松営業所 | 〒433-8117 | 浜松市高丘東2-22-15 | TEL(053)439-3300(代) |
| 岐阜営業所 | 〒501-6016 | 羽島郡岐南町徳田4-274 | TEL(058)276-6551(代) |
| 泉州営業所 | 〒596-0825 | 岸和田市土生町2-30-39 | TEL(0724)36-2211(代) |
| 神戸営業所 | 〒658-0081 | 神戸市東灘区田中町3-3-3 | TEL(078)412-6220(代) |
| 九州営業所 | 〒891-0115 | 鹿児島市東開町3-24 | TEL(099)269-5347(代) |
| 新潟マックス(株) | 〒955-0081 | 三条市東裏館2-14-28 | TEL(0256)34-2112(代) |
| 水戸マックス(株) | 〒310-0043 | 水戸市松ヶ丘2-3-27 | TEL(029)255-3761(代) |
| 群馬マックス(株) | 〒379-2215 | 佐波郡赤堀町大字今井543-2 | TEL(0270)62-1123(代) |
| 埼玉マックス(株) | 〒331-0044 | 大宮市日進町3-421 | TEL(048)651-5341(代) |
| 千葉マックス(株) | 〒284-0001 | 四街道市大日1870-1 | TEL(043)422-7400(代) |
| 横浜マックス(株) | 〒241-0822 | 横浜市旭区さちが丘7-6 | TEL(045)364-5661(代) |
| 長野マックス(株) | 〒399-0033 | 松本市笹賀8155 | TEL(0263)26-4377(代) |
| 長野営業所 | 〒381-2247 | 長野市青木島1-35-1 | TEL(0262)85-6740(代) |
| 静岡マックス(株) | 〒422-8036 | 静岡市敷地1-3-26 | TEL(054)237-6116(代) |
| 金沢マックス(株) | 〒921-8061 | 金沢市森戸2-15 | TEL(076)240-1871(代) |
| 富山営業所 | 〒930-0827 | 富山市上飯野字樋向割10-8 | TEL(0764)52-0182(代) |
| 福井営業所 | 〒918-8237 | 福井市和田東2-1711 | TEL(0776)27-3378(代) |
| 京滋マックス(株) | 〒612-8414 | 京都市伏見区竹田段ノ川原町9 | TEL(075)645-5061(代) |
| 兵庫マックス(株) | 〒673-0404 | 三木市大村109-1 | TEL(0794)83-2121(代) |
| 岡山マックス(株) | 〒700-0971 | 岡山市野田3-23-28 | TEL(086)246-9516(代) |
| 四国マックス(株) | 〒761-8056 | 高松市上天神町761-3 | TEL(087)866-5599(代) |
| 徳島営業所 | 〒770-0866 | 徳島市末広1-4-25 | TEL(0886)23-0286(代) |
| 松山営業所 | 〒790-0951 | 松山市天山町28-1 | TEL(089)913-0608(代) |
| マックスサービス(株)本社 | 〒330-0038 | 埼玉県大宮市宮原町2-99-5 | TEL(048)667-6448(代) |
| マックスサービス(株)大阪 | 〒553-0004 | 大阪市福島区玉川1-3-18 | TEL(06)446-0815(代) |
| マックスサービス(株)名古屋 | 〒461-0025 | 名古屋市東区徳川1-11-23 | TEL(052)935-8210(代) |
| マックスサービス(株)福岡 | 〒812-0006 | 福岡市博多区上牟田1-5-1 | TEL(092)451-6430(代) |
| マックスサービス(株)広島 | 〒733-0035 | 広島市西区南観音7-11-24 | TEL(082)291-5670(代) |
| マックスサービス(株)仙台 | 〒984-0002 | 仙台市若林区卸町東2-1-29 | TEL(022)237-0778(代) |
| マックスサービス(株)札幌 | 〒060-0041 | 札幌市中央区大通東6-12-8 | TEL(011)231-6487(代) |

●マックスお客様ご相談ダイヤル(無料) 0120-22-8358
月～金曜日 午前9時～午後6時

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。